

東京さくらトラム(都電荒川線)

都電の歴史は、明治44年に東京市が東京鉄道株式会社から路面電車事業を買収し、東京市電気局として開局したときに遡ります。

都電には、かつて文字どおり“都民の足”として隆盛を誇った時代がありました。最盛期の昭和18年度には、一日平均193万人のお客様が利用されました。系統も41系統を数え、都電が都内を縦横に走っていました。しかし、自動車交通量が増大していく流れの中で、軌道敷内への自動車乗り入れによる輸送効率の低下が顕著となり、昭和42年から昭和47年にかけて181kmもの路線の廃止を余儀なくされました。

現在では、路線の大部分が専用軌道であること、代替バスを運行できる道路がないこと、沿線住民等の強い存続要望があったことなどにより、三ノ輪橋～早稲田間を走る都電荒川線のみを運行しています。

営業キロはわずか12.2kmですが、令和5年度は一日平均約4万9千人のお客様にご利用いただき、地域に密着した交通機関として親しまれています。

都電荒川線の魅力を国内外に積極的にアピールし、更なる利用者の誘致、沿線地域の活性化に寄与していくため、外国人を含む観光客の方にも親しみやすい路線愛称を付けることとし、広く意見募集を行いました。その結果平成29年4月に愛称を「東京さくらトラム」に決定しました。



8900形車両▶

東京さくらトラム(都電荒川線)の概要

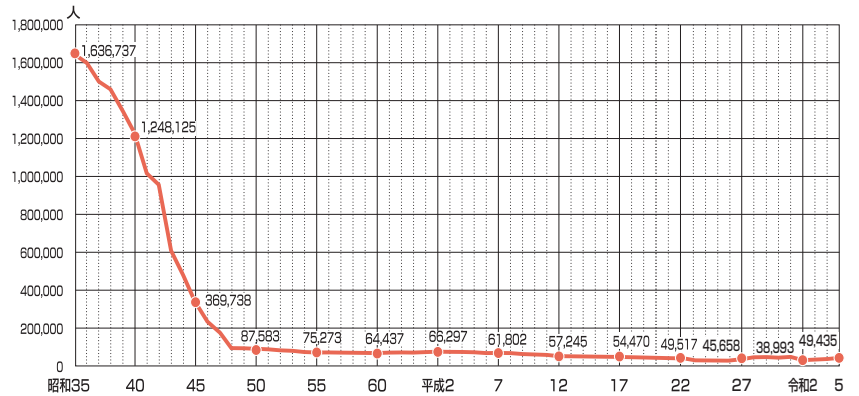
令和6年4月1日現在

線区	営業区間	三ノ輪橋～早稲田	
	営業キロ	12.2km (専用軌道部10.5km、併用軌道部1.7km)	
	停留場数	30か所	
車両	在籍車両数	33両	
	(内訳)	7700形	8両(定員62人)
		8500形	5両(定員65人)
		8800形	10両(定員61人)
		8900形	8両(定員62人)
9000形		2両(定員64人)	
規格	軌間	1,372mm	
	電気方式	直流600V	
	最短運転時隔	3分00秒	
運転	表定速度	13.1km/h	
	最高速度	40.0km/h	
	運転所要時分	56分	



▲都電マスコットキャラクター「とあらん」

都電の乗車人員の推移(一日平均)



東京さくらトラム(都電荒川線)路線図



〈安全・安心の確保〉

◆定期検査と点検◆

車両、軌道、架線、信号、通信ケーブルなどの点検・整備を、定期的に行っています。



▲車庫での点検状況▲

◆ブレーキランプの設置◆

後方からの追突を避けるため、全車両にブレーキランプを設置しています。



▲ブレーキランプ

◆固定式ホーム柵の設置◆

停留場からの転落事故を防止し、お客様により安全にご利用いただけるよう、平成24年度から設置可能な全ての停留場に固定式ホーム柵を設置しています。



▲固定式ホーム柵

◆車載映像記録装置◆

車載映像記録装置を全車両に設置しています。記録された映像とデータを活用して事故の原因を分析するとともに乗務員の安全教育を実施しています。

◆運転手異常時電車停止装置の設置◆

運転手に体調異常が生じた場合に備えて、運転手異常時電車停止装置を設置しています。

◆各種訓練◆

各関係機関と連携し、消防訓練、テロ対処訓練など安全・安心の確保に向けた訓練を定期的に行っています。



▲テロ対処訓練

〈輸送サービスの向上〉

◆PASMO(パスモ)・ToKoPo(トコポ)◆

都電全車両でPASMOがご利用いただけます。(PASMOについてはP.8を参照)

PASMOには、都電IC定期券、都電IC一日乗車券の発売が可能です。

また、PASMOを活用したポイントサービス「ToKoPo(トコポ)」が利用いただけます。(「ToKoPo(トコポ)」については、P.8を参照)



▲PASMO対応料金機



▲PASMO

◆電車接近表示装置◆

全停留場に、電車接近表示装置を設置し、お客様の利便性の向上を図っています。



▲電車接近表示装置

◆沿線地域の活性化◆

◆車両の導入

都電では平成19年5月及び平成21年1月に地域の観光振興にも役立てるよう、レトロ調の9000形を導入しました。また平成21年より景観に調和した優しさと親しみやすいデザインの8800形を導入、平成27年にはさらなる先進性と快適性、どなたでも乗りやすいユニバーサルデザインを取り入れた8900形を導入しました。8800形と8900形の塗色は沿線に咲き誇るバラの色をイメージしています。平成28年3月には7000形車体をリニューアルした、クラシックモダン調の7700形がデビューし、平成28年度末までに8両がそろいました。



▲ローズレッド色の8800形

◆地域の景観にマッチした停留場の整備

地元自治体や地域とも連携しながら、沿線の新たな観光スポットとして、三ノ輪橋、庚申塚の停留場を昭和30年代の雰囲気を活かした停留場に整備しました。都電荒川線の魅力向上や地域の活性化に役立っています。

〈ひとにやさしい都電〉

◆停留場のバリアフリー化◆

全ての停留場で、スロープや視覚障害者誘導用ブロックを設置するとともに、車両との段差を解消するため停留場をかさ上げしています。



▲スロープ

◆車両のバリアフリー化◆

フリースペースや、車いすをご使用になるお客様専用の「降車用押しボタン」を全車両に設置しています。



▲フリースペース

◆都電おもいで広場

荒川電車営業所内に、かつて活躍した車両2両を展示する施設を平成19年5月に開設しました。

また、地域と連携したイベント等にも利用できるスペースも併設しました。(年末年始を除く土・日・祝日のみ開場。入場無料。)



▲都電おもいで広場

◆都電サポーター事業

都電の魅力向上と沿線地域の活性化に寄与するため、地元自治体や都電サポーター(地元で都電の応援・PRをしてくれる皆さん)との連携強化に努め、沿線のPRや都電の魅力を引き出す地域に密着したイベントなどを積極的に展開しています。

◆三ノ輪橋おもいで館の開設

お客様の利便性の向上を図るとともに、地域とも連携して沿線情報を発信する新たな拠点として、平成30年10月に三ノ輪橋おもいで館を開設しました。都電をはじめ、都営交通及び沿線情報の案内や、乗車券・グッズ等の販売、各種案内冊子の配布等を行っています。



▲三ノ輪橋おもいで館

〈環境にやさしい都電〉

◆沿線の緑化◆

沿線の景観向上や環境負荷の低減を図るため、都電サポーターや地元自治体と協力・連携して、沿線の緑化に取り組んでいます。また、荒川車庫前停留場付近、大塚駅前停留場付近及び町屋駅前停留場付近では、軌道を緑化し、植え付けた植物の生育状況について経過観察を行っています。



沿線のバラと9000形▶

◆省エネルギー車両◆

全ての車両で、省エネルギー効果の高いVVVF制御を採用しています。また車内照明にLEDを導入することにより、省エネ化、環境負荷の低減及び長寿命化を進めています。

◆環境(エコ)定期券制度◆

都電の通勤定期券をお持ちのお客様が、同伴する同居のご家族または、パートナーシップ宣誓制度で証明を受けている二親等以内のご家族に相当する同居の方と一緒にご乗車される場合、土・日・祝日等の適用日に限り、ご家族が割引運賃(大人100円・小児50円現金のみ)でご乗車いただける制度です。